

[制吐レジメン作成薬価計算－制吐状況集計シートの使用説明]

がん化学療法において制吐対策は極めて重要ですが、レジメン毎に催吐リスクを調べ、適切な制吐対策を行うには多少の手間がかかります。このプログラムを使うことにより、「入力画面ワークシート」からレジメンに使用される抗がん剤を選択した後、「集計」ボタンを押すだけで、「作成用ワークシート」にレジメンの催吐リスク、制吐薬の種類、投与量、投与期間、制吐対策にかかる費用（薬価）を瞬時に自動的に表示されます（なお、最新の抗がん剤は登録していませんので使用時に追加登録してください）。

さらに、各施設にて制吐対策実施状況と制吐率をレジメン毎に把握することは重要です。この作業を簡便に実施するためのワークシートとして、「高度」と「中等度」催吐リスクのワークシートを用意しました。該当するワークシートを選択し、悪心および嘔吐の欄の1日目～5日目までの箇所嘔吐の発現状況をグレードで書き込み、制吐薬処方状況欄にチェックを入れるだけで自動的に制吐処方実施状況と制吐率を計算します。なお、悪心、嘔吐のグレード分類（CTCAE v4）や制吐対策ガイドラインもこのシートの中で閲覧できるようにしてあります。抗がん剤治療を実施している各施設において、適切な制吐対策を推進し、制吐率の向上にお役立ていただければ幸いです。

使用法

①制吐レジメンの作成・制吐薬薬価計算

このエクセルファイルを「マクロを有効にする」状態で起動した後、「入力画面」にてレジメンにて使用される抗がん剤名をA列の箇所をクリックして▼印のアイコンを使って●を選択してください。必要な抗がん剤を全て選択し終えたら画面上部の「集計」ボタンを左クリックします。→マクロが起動し自動的に「作成用ワークシート」が表示され、制吐処方欄には、「日本癌治療学会編集制吐薬の適正使用ガイドライン 2010年」に準拠した制吐薬、投与量、投与日が記載されています。

①必要な抗がん剤を選択

②抗がん剤選択後、左クリック

選択	一般名	商品名	略号	週健忘や発熱	関節・筋肉痛	発熱	血管痛	血管外漏
-	クラドリン	ロイスタチン	2-CdA	17.30		14.80		
-	クリスチン	クリスチン	PSK					
-	ゲフィチニブ	イレッサ	(イレッサ)	16.60	11.60	0.00	0.00	0.00
-	ゲムシタジン	ジェムザール	GEM	7.70	0.60	31.60	0.00	0.00
-	ゴセリビン	ゾラテックスデボ	ZOL	2.20				
-	シクロホスファミド	エンドキサン	CFA	0.20				
-	シスプラチン(動注用)	アイエーコール	CDDP	1.90				
●	シスプラチン(通常量)	ランダ/ブリプラチン	CDDP	2.10	0.20	4.70	0.00	0.00
▼	シスプラチン(低用量・連日)	ランダ/ブリプラチン	CDDP					
-	ソニフィラン	ソニフィラン	SPG	0.23		0.74	2.00	
-	シタラビン	キロサイド(通常量)	Ara-C	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
-	シタラビン	キロサイド(特長)	Ara-C	56.10	4.90	90.20	0.00	0.00
-	ダウノルビシン							100.00
-	ダカルバジン				0.10	2.70	8.20	0.00
-	タモキシフェン							
-	テガフル・ウラシル	ユーエフティ	UFT					
-	テガフル・ウラシル	ユーエフティE	UFTE					
-	チタフル・チタシル・チタラシルK	ティーエスワン	TS-1	0.10	0.00	1.90	0.00	0.00
-	テモタセド	テモダール	(テモ/テド)					
▼	ドカルビシン	アドリアシン	DXR	0.70	0.00	4.00	0.00	100.00
●	ドタキセル	ドタキセル	DTX	4.50	4.50	45.50	0.10	100.00
-	ドスツズマブ	ハーセプチン	Her			44.40		
-	ドレチノイン	ベサノイド	ATRA			7.00		
-	ニムスチン	ニドラン	ACNU	1.30		1.60	0.20	0.00
-	ネダプラチン	アクブラ	Ned					0.00
-	ノギテガン	ハイカムチン	Noqi	0.50		24.20	0.00	0.00
-	パクリタキセル	パクリタキセル	PTX	20.90		44.40	0.80	100.00

抗がん剤レジメンの催吐リスクが表示

催吐リスク【高】		ドセタキセル / シスプラチン (通常量)										療法 (1 クール目)									
岐阜大学病院・九州大学病院オリジナル		Day 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
抗がん剤	用量	全量 (下記)	投与条件	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/
ドセタキセル																					
シスプラチン (通常量)																					
制吐処方		Day 0	1	2	3	4	5														
5-HT ₃ 受容体拮抗薬*	静注もしくは内服		●																		
デキサメタゾン注 9.9mg/回	静注		●																		
デキサメタゾン錠 8mg/day	内服			●	●	●															
アプレピタントカプセル125mg	内服		●																		
アプレピタントカプセル80mg	内服			●	●																
* 5-HT ₃ 受容体拮抗薬 制吐対策費		* 5-HT ₃ 受容体拮抗薬 制吐対策費																			
アザセトロン(セロトニン錠10mg)	1,480	グラニセトロン(カイトリル)注 3mg	5,667																		
その他		その他																			
デカドロン注33mg	585	デカドロン注33mg	585																		
デカドロン錠	283	デカドロン錠	283																		
イヌドカプセル	11,302	イヌドカプセル	11,302																		
合計	13,651		17,838																		

必要な制吐薬が表示

制吐薬レジメンが表示

制吐薬の薬価、総費用が表示

さらに下欄にはその時の制吐対策費用が自動的に表示されます。この場合、5-HT₃受容体拮抗薬として、グラニセトロン (カイトリル注 3mg バッグ、中外製薬) とアザセトロン (セロトニン錠 10mg、鳥居薬品) の 2 種類を記載しましたが、他の 5-HT₃ 受容体拮抗薬でも使用可能です。アザセトロン内服薬を併記した理由は、本剤の生物学的利用率が優れ、5-HT₃ 受容体に対する占有率を比較するとグラニセトロン注 3mg を使った場合とほとんど変わらないといった理由からです。データについては「作成用ワークシート」の下部に示しました。

②制吐対策実施状況、制吐率集計ワークシート

抗がん剤レジメンの催吐リスクから、「高度」もしくは「中等度」ワークシートを選択します。

このワークシートの悪心および嘔吐の欄の1日目～5日目までの箇所嘔吐の発現状況をグレードで書き込みます。

この欄に悪心嘔吐の重症度（グレード）記入

さらに、制吐薬処方状況欄にチェックを入れます。

自動的に制吐薬処方実施状況と制吐率を計算します。なお、悪心、嘔吐のグレード分類（CTCAE v4）や制吐対策ガイドラインもこのシートの中で閲覧できるようにしてあります。抗がん剤治療を実施している各施設において、適切な制吐対策を推進し、制吐率の向上にお役立ていただければ幸いです。

白い箇所到处方状況（あり：1；なし：0）を入力

白い箇所到处方状況（あり：1；なし：0）を入力

制吐対策実施状況（上）および制吐率（急性期、遅発期、全期間での悪心抑制率、嘔吐抑制率、完全抑制率）がリアルタイムで表示されます